



1. 本市の自転車活用の課題

第2章に挙げる自転車に関するニーズや現状を踏まえ、自転車の利用に係る課題を明らかにしました。

第2章1. 自転車に関するニーズ	第2章2. 自転車に関する現状
1. 自転車競技 1-1 トップアスリートを間近で見られる自転車競技大会の開催によるまちの賑わいづくりが求められています。 1-2 市民が参加できる自転車競技大会の開催が求められています。	1-1 プロサイクリングチームの活動拠点があります。 1-2 市民は自転車競技大会の観戦経験がほとんどありません。
2. サイクルスポーツに関する人材の育成 2-1 自転車競技を支える選手や指導者の育成、安全な練習環境の確保が求められています。 2-2 自転車競技大会等を支えるボランティアの育成が求められています。	2-1 本市出身の自転車競技選手や自転車競技の指導者が少ないです。
3. サイクリングコース 3-1 地域資源を活用した魅力あるサイクリングコースの充実が求められています。 3-2 市内外に向けたサイクリングの情報発信が求められています。	3-1 大規模なサイクリングコースからつながる市内のルートの整備がされていません。 3-2 地域の観光資源をつなぐ仕組みが不足しています。 3-3 魅力的なロケーションや地域特有の特産品が多数あります。
4. サイクリストの受入環境 4-1 サイクリストに喜ばれるサービスやサイクリストが利用しやすい宿泊施設や飲食店などの充実が求められています。 4-2 観光客が楽に市内を周遊できる電動アシスト自転車の貸出サービスなどが求められています。	4-1 交通インフラが整っており、東西都市圏からのアクセスが良好な地域です。 4-2 サイクリストに良好なサービスを提供する観光施設が十分に整っていません。
5. 自転車の交通ルールやマナー 5-1 自転車の交通ルールやマナーの周知を継続的に行うことが求められています。 5-2 定期的な自転車の安全点検や損害賠償保険の加入など、安全な自転車の利用が求められています。	5-1 自転車安全教室を定期的実施しています。 5-2 交通事故に占める自転車事故の割合は増加傾向にあります。 5-3 法令違反による自転車事故が多く見られます。
6. 自転車の走行環境 6-1 自転車が安全に安心して通行できる走行環境が求められています。	6-1 一部の区間では自転車走行空間の整備がされていますが、十分ではありません。
7. 駐輪環境 7-1 安全で快適な駐輪環境の維持や盗難防止対策の強化が求められています。	7-1 一部の区域では駐輪環境が改善されています。
8. 日常における自転車の利用 8-1 市民が自転車に興味を持つきっかけづくりや気軽に自転車を利用する環境を作っていくことが求められています。	8-1 本市は自転車利用に適した気候と言えます。 8-2 新型コロナウイルス感染症の影響により自転車の利用頻度が増加しています。 8-3 習慣的に自転車を利用していない人が多い状況です。
9. 健康増進と環境負荷の低減 9-1 自転車を活用した健康づくりや環境負荷の低減のため、自転車通勤に注目が集まっています。	9-1 肥満者等の割合が県平均より高い傾向にあります。
10. 自転車を活用した防災 10-1 防災に自転車を活用することが求められています。	10-1 災害時には徒歩や自動車を想定した移動手段が多くなっています。

図表 3-1 自転車活用の課題の整理



自転車活用の課題

課題1：自転車競技を活用した地域の新たな魅力づくり

- 地域密着型プロサイクリングチームの活動拠点である強みを有していますが、十分に活かされていません。自転車競技（サイクルスポーツ）を活用し、まちの活性化を図り、市民の自転車に対する関心を高めるためには、サイクルスポーツを「みる」、「する」機会の創出が必要です。

課題2：サイクルスポーツ振興を支える人材の育成

- サイクルスポーツの競技力の向上を図るための競技者や指導者及び競技大会やイベント等をサポートするボランティアなど、「ささえ」人材の確保や育成をしていくことが必要です。サイクルスポーツを楽しめる環境や練習環境を確保していく取組も必要です。

課題3：サイクリングコースと情報発信の充実

- 観光客やサイクリストを市内に引き込み、長く滞在したいと思わせる仕組み作りが必要です。観光客の周遊性を向上させる観光資源をつなぐサイクリングルート・コースの設定・整備が必要です。市内外へ本市の魅力について情報発信する機会の充実が必要です。

課題4：サイクリストの受入環境の充実

- 観光客やサイクリストを受け入れるために、良好な観光サービスを提供する宿泊施設や商業施設等の充実が必要です。市内のサイクリングコースの充実と併せて、手ぶらでも自転車で市内を周遊できるレンタサイクルのサービスの拡充も必要です。

課題5：自転車の交通ルール及びマナーの遵守の徹底

- 交通事故に占める自転車事故の割合が増加傾向であることや事故の多くは法令違反によるものであるため、自転車交通ルール及びマナーの継続的な啓発が必要です。万一の事故の備えのため、定期的な自転車の安全点検や損害賠償保険の加入などの啓発も必要です。

課題6：安全な自転車走行環境の構築

- 歩行者と自転車、自転車と自動車の事故が多いことから、歩行者や自転車が安全に移動できる道路整備を進める必要があります。歩行者や自転車運転者のニーズを見極めながら、円滑な自転車走行空間ネットワークの構築を図っていく必要があります。

課題7：安全で快適な駐輪環境の向上

- 安全で快適に利用できる駐輪場を維持していくためには、引き続き施設の保全や放置自転車の対策、駐輪場の整理整頓などを実施していくことが必要です。自転車の盗難が増えていることから、駐輪場の防犯対策を強化するとともに、自転車利用者への防犯意識を高める啓発が必要です。

課題8：自転車の利用を促進するための意識の改革

- 自転車を活用している市民が少なく自転車に対する関心が低いため、市民の自転車に対する興味を高めるきっかけづくりが必要です。市民が主体的に自転車の利用ができるように、日常生活で気軽に自転車に乗れる環境づくりも必要です。

課題9：自転車を活用した健康づくりと環境負荷の低減

- 19歳から64歳までの市民の運動に対する意識が低いため、日常生活の中で簡単に健康づくりが行える自転車通勤を推進していく必要があります。また、健康経営や環境負荷の低減を目的として、企業が主体的に自転車通勤に取り組めるように働きかけを行っていくことも必要です。

課題10：自転車を活用した防災

- 自転車は災害発生後の被害状況の把握などに有効な手段となりますが、積極的な活用がされていないため、防災への活用を推進していく必要があります。災害発生後の情報収集や伝達など、自転車を活用した災害時の危機管理体制の強化を図っていく必要があります。